

ひとの「生きる」を
みんなが優しく
育みあう

【子ども・教育・人権】 基本目標 1 こども・若者

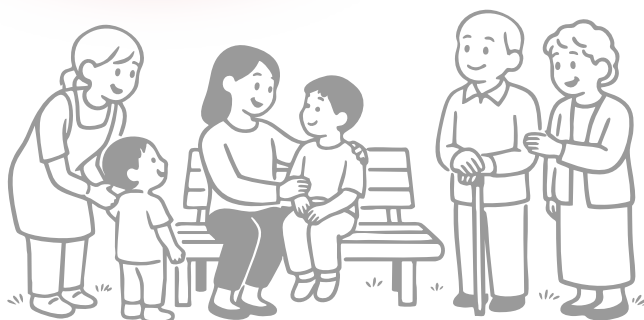
幸せが生まれる 2037 年の米原の姿

こどもや若者が自分らしく夢に挑戦し、
その姿が地域に元気と希望を広げている



- 子ども・子育て -

子育て家庭が安心して暮らせる支援が充実し、
子どもの個性が輝いている



- 青少年・若者応援 -

若者一人ひとりが故郷へ愛着と誇りを持ち、
誰かの役に立っていると希望を抱きながら、
成長し、輝いている



ひとの「生きる」を
みんなできよく
育みあう

【子ども・教育・人権】 基本目標2 **教育**

幸せが生まれる 2037 年の米原の姿

**学び・文化・スポーツが生涯にわたって
身近にあり、一人ひとりが自分らしく成長し、
その学びや力が地域に活かされている**



- 就学前・学校教育 -

安全・安心な環境と
質の高い給食・教育・保育環境のもと、
子どもたちの健やかな成長と
「生きる力」が育まれている



- 家庭・学校・地域連携 -

地域の特色や食文化を学びに活かし、
地域全体で子どもたちの
成長と挑戦が支えられている



- 生涯学習 -

生涯にわたり身近な地域で
学びや情報、文化に触れ、
ともに未来を創造することができる

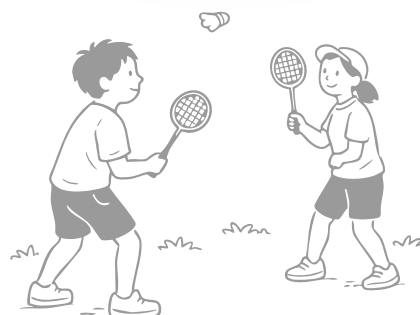
- スポーツ -

スポーツを通じて喜びを分かち合い、
スポーツを「する人」だけでなく、
「支える人」「みる人」も
等しく幸せを感じている



- 歴史文化 -

歴史文化や文化財が
未来へつながり、
将来にわたって
「住み続けたい」と思える
歴史文化が実感できている



ひとの「生きる」を
みんなて優しく
育みあう

【子ども・教育・人権】 基本目標3 人権

幸せが生まれる 2037 年の米原の姿

互いの違いを尊重し合う意識が広がり、
誰もが自分らしく輝いている



- 人権 -

市民一人ひとりの個性・人権が尊重され、
多様な主体が支え合いながら共生し、
誰もが生きがいや幸福を実感している



- 男女 -

家庭と仕事の両立を支え、
性別にとらわれず誰もが個性と能力を
発揮できる社会になっている



- 多文化 -

連携のとれた国際理解の教育、
国際交流などを通して、
異文化への理解が深まり、
外国籍市民が安全・安心に暮らしている



“自分ごと”
として備え、
みんなで支え合っ

【福祉・防災】 基本目標4 福祉

幸せが生まれる 2037 年の米原の姿

地域のつながりの中で支え合いが広がり、
安心が地域に行き渡っている



- 地域福祉・権利擁護 -

誰も取り残さない支援体制ができ、
世代を超えてつながりあいながら、一人ひとりの意志を尊重し
支え合い暮らすことができている



- 生活困窮 -

生活の困りごとや引きこもりの支援が強化され、
一人ひとりが地域の中で役割とつながりを持ち、
積極的に自己表現ができている



- 高齢福祉 -

介護が必要な状態になっても、
住み慣れた地域で自分らしい暮らしが安心して続けられている

- 障がい福祉 -

障がいのある人もない人も、
地域で支え合いながら、一人ひとりが
自分らしく役割を持って安心して暮らすことができている





【福祉・防災】 基本目標5 健康・医療

幸せが生まれる 2037 年の米原の姿

健康づくりが暮らしの中に根づき、
誰もがいきいきした毎日を重ねている



- 健康づくり -

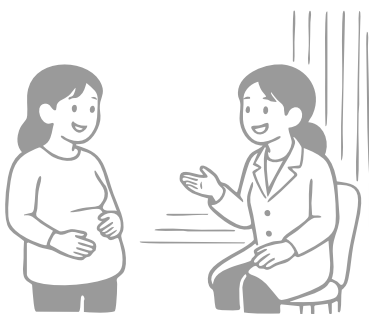
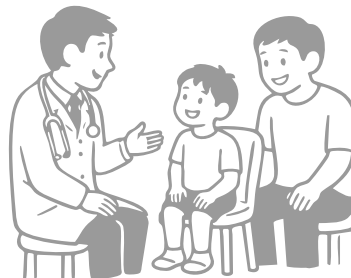
自ら健康づくりに取り組み、
自分らしく長生きできている



※差し替え予定

- 保険 -

適切な医療を受けることができ、
生涯にわたって
自分らしく暮らすことができる



- 医療 -

制度の広域化や
DX 化により、
持続可能な医療制度を受けられている



※差し替え予定



【福祉・防災】 基本目標6 防災・安全

幸せが生まれる 2037 年の米原の姿

一人ひとりの備えと地域の助け合いによって、
命と暮らしが守られている



- 防災 -

情報の見える化や
伝達体制が強化され、
市民の防災意識が向上し、
みんなで備え、みんなで守る
「支え合いの防災体制」がある



※差し替え予定



- 消防 -

いろいろな人や地域の支え合いのもと、
消防団員と消防設備が充実し、
災害に強く安心して暮らせるようになっている

- 交通安全 -

市民一人ひとりが交通安全を
「自分ごと」として意識し、
交通事故のない安心できるまちになっている



- 防犯 -

地域のつながりを力に、
誰もが「安心して暮らせる」と
実感できるようになっている



豊かなを感じ、
自然のバランスを
ととえる

【自然・環境】 基本目標7 自然・環境

幸せが生まれる 2037 年の米原の姿

伊吹山や清らかな水の豊かさが大切にされ、
自然にやさしい暮らしが広がっている



- 伊吹山再生 -

間伐や植生回復、有害鳥獣対策が進み、
伊吹山の豊かな自然環境が保全されている



- 自然環境 -

里山や森林などの
自然環境が保全・復元されている



- 生活環境（衛生・ごみ・リサイクル） -

衛生的で安心な生活環境が維持され、
一人ひとりの行動で資源循環が進み、
自然にやさしいごみの少ないまちになっている

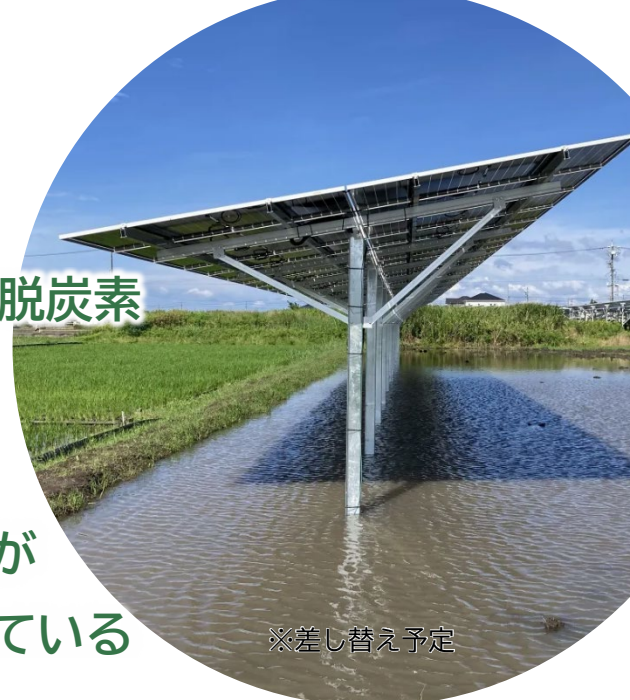


豊かなを感じ、
自然のバランスを
ととえる

【自然・環境】 基本目標8 脱炭素

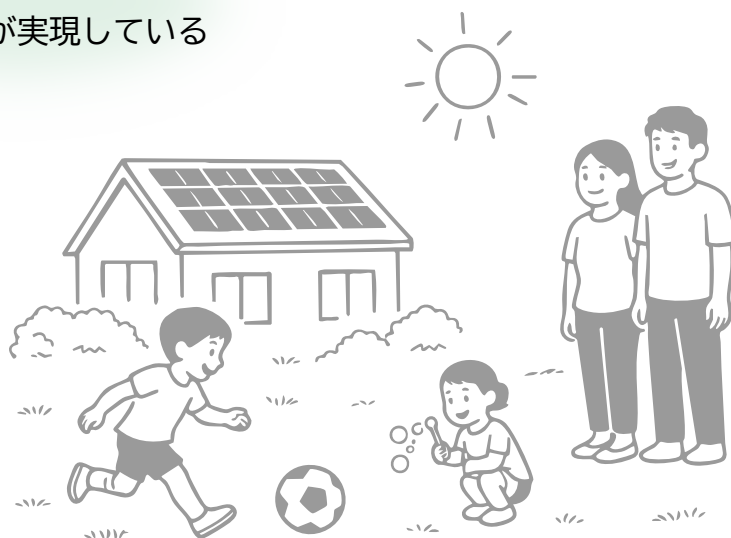
幸せが生まれる 2037 年の米原の姿

美しい環境が守られ、
そのかけがえのない価値が
次の世代へと受け継がれている



- 再生可能エネルギー -

再生可能エネルギーの導入が進み、
脱炭素社会が実現している



- 脱炭素未来投資 -

再生可能エネルギー由来のクリーン水素などを活用し、
市民の安心・地域の活力を両立させ、
自然バランスが未来へ引き継がれている



恵まれた風土を楽しみ、
にぎわいとなりわいを
生み出す

【産業・経済】 基本目標9 産業

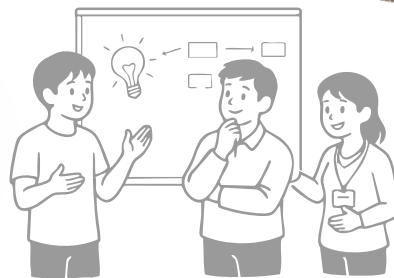
幸せが生まれる 2037 年の米原の姿

資源や知恵が活かされ、新しい挑戦や
仕事生まれ、いきいきとした活気が満ちている



- ものづくり産業 -

地域に根付いた産業が活性化し、
新たな魅力ある産業が
創出されている

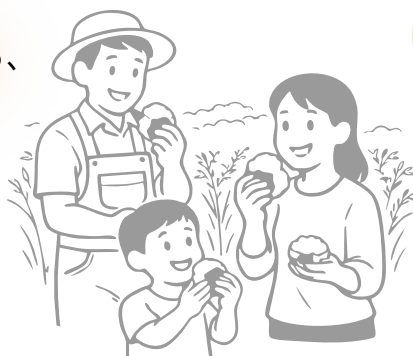


- 起業・複業 -

起業・複業に取り組む人が増え、
関係人口・交流人口の拡大により、
地域が活性化している

- 農林水産業 -

農業・畜産業・水産業・林業が
生産性や収益性の向上を図りながら、
適切に維持管理されている



恵まれた風土を楽しみ、
にぎわいとなりわいを
生み出す

【産業・経済】 基本目標 10

幸せが生まれる 2037 年の米原の姿

人と人、地域と地域の交流がまちのあちこちに
新しいにぎわいや価値が芽吹かせている

経済



- 商工業 -

地域の魅力を活かした商工業が活性化し、
多様ななりわいと安定した雇用が生まれ、
まちのにぎわいにつながっている



- 雇用・労働 -

さまざまな人が活躍できる
働き方や働く場があり、
地域の商工業の活力が高まっている



- 観光 -

豊かな自然や歴史文化の
魅力が未来につながり、
訪れる人と暮らす人の
交流により活力が生み出され、
感動と誇りに満ちている



- 定住促進 -

たくさんの人の挑戦により、
空家からにぎわいとなりわいが
生まれている



- 移住支援 -

市の魅力が認知され、
「選ばれるまち」としての評価が
高まっている

まちと暮らしを
ともに支え合い、
安心を灯し続ける

【暮らしの土台】 基本目標 11 暮らしの拠点

幸せが生まれる 2037 年の米原の姿

駅や地域の拠点に人が集い、語らい、
つながり、誰もが安心して暮らし続けられる
交流の輪が大きく育っている



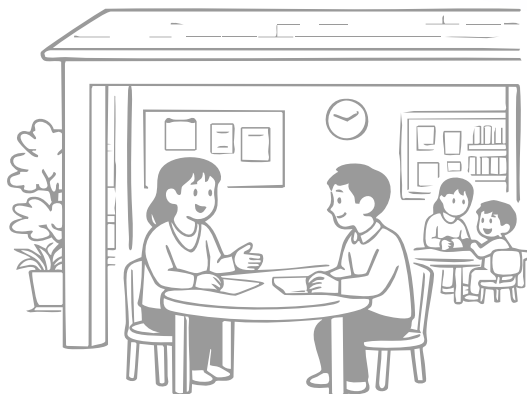
- 米原駅周辺まちづくり -

滋賀県唯一の新幹線駅を活かし、
米原駅周辺が三大都市圏を結ぶ広域拠点として、
人・モノ・情報が集まる賑わいの中心になっている



- 拠点形成 -

地域の魅力を生かした拠点を整備し、
誰もが暮らしやすく、
次世代が暮らし続けられるまちづくりが行われている





【暮らしの土台】 基本目標 12 持続可能な都市基盤

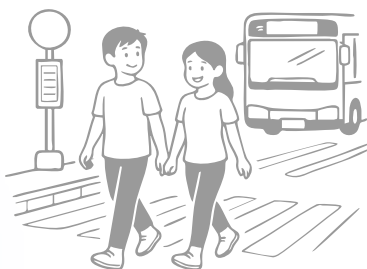
幸せが生まれる 2037 年の米原の姿

大切に維持管理された安全で快適な
都市の土台が、安心な暮らしを支えている



- 都市計画 -

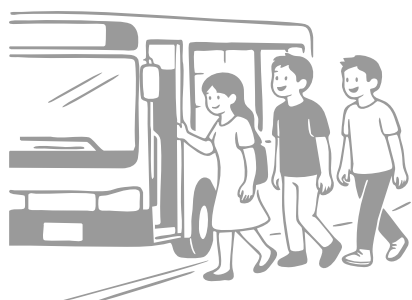
都市や産業の拠点を中心に、
市街化区域が拡大され、
人口減少社会においても、
安全で快適に暮らし続けている



- 景観 -

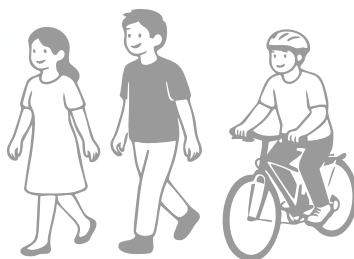


豊かな自然や歴史文化資源を保全し、
公園や既存施設を活用・整備することで、
緑と交流の拠点が形成され、
心身の健康と生活の質が高まっている



- 地域公共交通 -

拠点と地域を結ぶ
公共交通につながり、
持続可能で快適な
移動手段を選択できている



- 道路・雪寒対策 -

快適・気軽に移動ができる
交通ネットワークが整備され、
安心・安全な暮らしができている



- 上下水道 -

上下水道施設の適切な維持管理と
更新が進み、安全な水を安心して使い、
汚水も適切に処理される暮らしが
続いている



まちの明日を
つむぐため、
手と手をつなぐ

【協働・地域経営】 基本目標 13 協働

幸せが生まれる 2037 年の米原の姿

市民、地域、事業者、行政が手と手を取り合い、
新しいまちづくりを動かしている



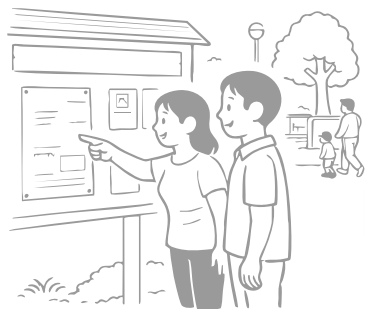
- 総働・共創 -

いろいろな人や団体が対等な立場でつながり、
信頼を高めあうことで、
地域の持続可能性が高まっている



- 自治会支援 -

自治会の事務負担が軽減されつつ、
世代を超えた担い手が育ち、
地域のことを自分ごととして支え合う、
思いやりのある地域自治が営まれている



- 新たな支え合いの 仕組みづくり -

いろいろな人や団体が対等な立場でつながり、
地域課題を自分事としてとらえ、
誰もが自分らしく、
困ったときは助け合えるようになっている



まちの明日を
つむぐため、
手と手をつなぐ

【協働・地域経営】 基本目標 14 地域経営

幸せが生まれる 2037 年の米原の姿

地域の知恵と力を生かしたまちの運営が進み、
未来につながる新しい挑戦が続いている



- 健全財政 -

限られた資源を
未来への投資に活かす、
安定的で健全な
財政運営が行われている



- 行政経営 -

行政サービスの質を確保し、
現代に合わせたデジタル技術等を活用して
市の業務の効率化を図っている

- 公民連携 -

対等な立場での連携と協働で、
公共サービスが充実し、
地域に新たな価値が
生まれ続けている



- 公共施設マネジメント -

公共施設が最適化・複合化され、
限られた施設が有効に活用されて、
必要な公共サービスが持続的に提供されている



- 広報広聴 -

市民目線の公報で、
市民と深く結びつくまちになり、
いつでも誰でも最適な方法で必要な情報が
得られる、便利なまちになっている

